

5. 参考資料

① 自然公園

自然公園名	指定年月日	関係市町村名	公園面積 (ha)
十和田八幡平国立公園	昭和11年 2月1日	青森市、黒石市、十和田市、平川市	40,747
三陸復興国立公園	平成25年 5月24日	八戸市・階上町	2,423
下北半島国定公園	昭和43年 7月22日	むつ市、大間町、東通村、佐井村	18,641
津軽国定公園	昭和50年 3月31日	弘前市、五所川原市、つがる市、今別町、 外ヶ浜町、鱒ヶ沢町、深浦町、中泊町	25,966
浅虫夏泊県立自然公園	昭和28年 6月10日	青森市、平内町	5,466
大鱈碇ヶ関温泉郷 //	//	大鱈町、平川市	6,730
名久井岳 //	昭和31年 10月25日	三戸町、南部町	1,076
芦野池沼郡 //	昭和33年 10月14日	五所川原市、中泊町	612
黒石温泉郷 //	//	黒石市、平川市	5,100
岩木高原 //	//	弘前市	2,587
赤石溪流暗門の滝 //	昭和56年 7月7日	鱒ヶ沢町、西目屋村	5,239
総 数			114,587

② 自然環境保全地域等

名 称	面 積 ha	所 在 地	指定年月日	概 況
然ヶ岳県自然環境保全地域	223.98	鱒ヶ沢町	S51.10.14	ブナ、キタゴヨウ、ケヤキ等からなるすぐれた自然林と北方系の貴重な植物生育地
丸屋形岳県自然環境保全地域	152.57	外ヶ浜町	S53.3.4	極相に近い裏日本の典型的なブナ林とさい沼のクロサンショウウオ、モリアオガエル等の生息地
屏風岩県自然環境保全地域	12.61	弘前市	S53.3.4	露岩が屹立する特異な屏風岩の地形と、北方系の貴重な植物生育地
座頭石県自然環境保全地域	4.47	弘前市	S53.3.4	古生代の岩からなる特異な岩壁地形と、アカマツの自然林
戸来岳県自然環境保全地域	194.99	新郷村	S54.3.20	自生するイチイの矮性林は学術的に貴重で、その群落規模はコメツツジとともに本県では希少
猿ヶ森県自然環境保全地域	3.52	東通村	S54.3.20	クロマツ海岸砂防林の中に、百数十本のヒバ(ヒノキアスナロ)の埋没林が出現している特異な自然現象地
燧岳県自然環境保全地域	225.57	むつ市 風間浦村	S55.3.31	大部分がミズナラ、ブナクラス域で、標高750m以上に亜高山帯植生が見られ、また学術的価値の高い自然環境地
尾太岳県自然環境保全地域	271.28	西目屋村	S55.3.31	大部分がブナ林で極相を示しているすぐれた天然林
四ツ滝山県自然環境保全地域	141.18	五所川原市 外ヶ浜町 中泊町	S55.3.31	ブナ林でおおわれた良好な自然環境地で、学術的価値の高い地域

白萩平開発規制地域	361.21	田子町	S50.7.12	シラスでできた台地で、広い草地とブナ・ミズナラ林等からなる良好な自然環境地
長野平開発規制地域	341.24	田子町	S51.3.13	十和田火山噴出物でできた台地で、広い草地とブナ・シラカバ林等からなる良好な自然環境地
鷹森山開発規制地域	197.00	青森市	S52.10.8	シラスでできた丘陵地で、クリ・コナラ林、スギ・カラマツ人工林等からなる良好な自然環境地
雲谷沢開発規制地域	207.00	青森市	S52.10.8	八甲田山麓で青森市の水源地にあたり、ブナ・ミズナラ林等からなる良好な自然環境地
愛宕山県緑地保全地域	93.97	むつ市	S50.7.12	愛宕山大権現を祭る小山中、スギ、マツ、カエデの生い茂る良好な自然環境地
玉松台県緑地保全地域	1.88	蓬田村	S50.7.12	住民の憩いの場となっている丘で、草地と名松玉松等クロマツの大木の並ぶ良好な自然環境地
大高山県緑地保全地域	7.83	鱒ヶ沢町	S50.7.12	眺望がすぐれ、住民の憩いの場となっている丘で、広い草地とクロマツ林等からなる良好な自然環境地
夜越山県緑地保全地域	99.37	平内町	S50.7.12	町の森林公園となっている夜越山麓で、アカマツ、クロマツ林等からなる良好な自然環境地
天間県緑地保全地域	4.33	七戸町	S50.7.12	町の森林公園となっている谷間地で、ミズナラ、クルミ等の天然林からなる良好な自然環境地
僧ヶ杜県緑地保全地域	65.54	七戸町	S50.7.12	眺望がすぐれ、住民の憩いの場となっている山で、クリ・コナラ林等からなる良好な自然環境地
小渡平県緑地保全地域	9.43	五戸町	S50.7.12	町の公園となっている丘で、草地とアカマツ・シラカバ等にかこまれた良好な自然環境地
龍興山県緑地保全地域	17.15	八戸市	S51.3.13	龍興山神社を祭る小山中、参道のスギ・モミの大木とミズナラ林等からなる良好な自然環境地
愛宕山県緑地保全地域	2.10	むつ市	S51.3.13	愛宕神社を祭る岬の台地で、ブナ・ミズナラ等の天然林からなる良好な自然環境地
南部八幡県緑地保全地域	1.34	南部町	S51.3.13	八幡宮を祭る高台で、スギ・ケヤキ・モミ等の巨木の茂る良好な自然環境地

③ 鳥獣保護区

区分	総数		目的による区分												
			森林鳥獣		大規模生息		希少鳥獣		集団渡来地		身近		集団繁殖地		
	箇所数	面積 ha	箇所数	面積 ha	箇所数	面積 ha	箇所数	面積 ha	箇所数	面積 ha	箇所数	面積 ha	箇所数	面積 ha	
総数	鳥獣保護区	88	131,894	53	51,083	2	50,301	5	6,624	9	13,470	18	6,896	1	3,520
	特別保護地区	11	22,207	6	1,539	1	19,366	2	1,290			1		1	2
国指定		5	60,502			2	50,301	2	5,683	1	4,518				
	特別保護地区	3	20,656			1	19,366	2	1,290						
県指定		83	71,392	53	51,083			3	941	8	8,952	18	6,896	1	3,520
	特別保護地区	8	1,551	6	1,539							1	10	1	2

④ 天然記念物

特別天然記念物

名 称	所 在 地	所有者及び保護団体	指定年月日
小湊のハクチョウおよびその渡来地	青森市、東津軽郡平内町	(管) 平内町	S27.3.29
カモシカ	青森県ほか29都府県		S30.2.15

天然記念物

名 称	所 在 地	所有者及び保護団体	指定年月日
蕪島ウミネコ繁殖地	八戸市鮫町字鮫	(管) 八戸市	T11.3.8
ツバキ自生北限地帯	東津軽郡平内町東田沢字小湊越	(管) 平内町	T11.10.12
法量のイチヨウ	十和田市法量字銀杏木	(管) 十和田市	T15.10.20
下北半島のサルおよびサル生息北限地	むつ市・下北郡佐井村		S45.11.11
縫道石山・縫道石の特殊植物群落	下北郡佐井村		S51.12.23
北金ヶ沢のイチヨウ	西津軽郡深浦町北金ヶ沢字塩見形	東北財務局	H16.9.30

天然記念物で地域を定めず指定したもの(本県関係分)

名 称	主 な 生 息 地	指定年月日
声良鶏	秋田県、青森県、岩手県	S12.12.21
軍 鶏	東京都、茨城県、千葉県、青森県、秋田県、高知県	S16.8.1
クマガラ	北海道、青森県、秋田県、岩手県	S40.5.12
イヌワシ	北海道他13県	S40.5.12
オジロワシ	北海道、新潟県	S45.1.23
オオワシ	北海道、石川県、福井県	S45.1.23
コクガン	北海道、青森県、秋田県他2県	S46.5.19
ヒシクイ	北海道、青森県、宮城県、新潟県、石川県他3県	S46.6.28
マガン	北海道、青森県、宮城県、新潟県、石川県他3県	S46.6.28
ヤマネ	本州、四国、九州	S50.6.26

記念物(県天然記念物)

名 称	員 数	所 在 地	所有者及び保護団体	指定年月日
赤根沢の赤岩		東津軽郡今別町砂ヶ森字赤根沢	今別町	S30.1.7
茨島のトチノキ	1株	三戸郡階上町赤保内字茨島	個人	S30.1.7
関の杉	1株	西津軽郡深浦町関字栃沢	深浦町	S30.1.7
大杉	2本	弘前市十腰内字猿沢	巖鬼山神社	S31.5.14
銀南木	1本	上北郡七戸町銀南木五奄河原	銀南木町内会	S31.5.14
桑の木	1本	三戸郡三戸町六日町	個人	S31.5.14
うつぎ	1本	三戸郡階上町赤保内字蛭子	個人	S31.5.14
天狗杉	1本	三戸郡南部町大向字長谷	恵光院	S33.1.22
爺杉	1本	三戸郡南部町法光寺字法光寺	法光寺	S33.1.22
法光寺参道松並木	18本	三戸郡南部町法光寺字法光寺	法光寺	S33.1.22
十三湖の白鳥(カモ科)		五所川原市十三湖	(管) 五所川原市教育委員会	S35.3.26
大湊湾の白鳥(カモ科)		むつ市	(管) むつ市教育委員会	S35.6.24
りんごの樹	3本	つがる市柏桑野木田字千年	個人	S35.11.11
カヤの木	1本	八戸市南郷区島守字門前	高松寺	S42.1.11
イチイ	1本	北津軽郡板柳町横沢字花岡	無量庵	S46.9.6

関根の松	1本	三戸郡三戸町川守田字関根	三戸町	S47.3.15
モミの木	1本	十和田市沢田字水尻山	個人	S47.12.6
クヌギ	1本	十和田市沢田字野倉沢	個人	S47.12.6
小川原湖のハクチョウ(カモ科)		三沢市・上北郡	(管)三沢市教育委員会	S47.12.6
藤崎のハクチョウ(カモ科)		南津軽郡藤崎町地内平川水域	(管)藤崎町教育委員会	S51.1.26
金木町玉鹿石		五所川原市金木町喜良市字小田川園有林	(管)五所川原市教育委員会	S55.1.24
妙堂崎のモミの木(トドロッコ)	1本	北津軽郡鶴田町妙堂崎字掛元	個人	S59.4.19
妙経寺のカヤの木	1本	黒石市京町字寺町	妙経寺	S63.10.25
燈明杉	1本	弘前市大沢字堂ヶ平	大沢町会	H5.4.16
根岸の大いちょう	1本	上北郡おいらせ町字東下谷地	個人	H6.4.25
横浜町のゲンジボタル およびその生息地		上北郡横浜町上田ノ沢・吹越・ 長下地区	(管)横浜町教育委員会	H8.5.22
わむら(上村)のカシワの木	1本	三戸郡五戸町倉石中市字中市	五戸町	H8.5.22
向外瀬のモクゲンジ (センダンバノボダイジュ)	1本	弘前市向外瀬	個人	H9.5.14
天満宮のシダレザクラ	1本	弘前市西茂森	天満宮	H10.4.22
鬼沢のカシワ(鬼神腰掛柏)	1本	弘前市鬼沢字猿沢	鬼神社	H10.4.22
百沢街道及び高岡街道の松並木		弘前市百沢・高岡ほか	青森県・弘前市	H11.4.21
寒立馬とその生息地		下北郡東通村尻屋字念仏間	東通村産業振興公社	H14.11.18
中野神社の対植えのモミ	1対	黒石市南中野不動館	中野神社	H20.4.25
西光寺のシダレザクラ	1本	上北郡野辺地町寺ノ沢	西光寺	H23.8.19

⑥ 日本の重要湿地500選定地

名称	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
下北半島大間崎 周辺沿岸	下北郡大間町・ 佐井村	藻場	海藻	下北半島大間崎 周辺沿岸	マコンブ、ホソメコンブ、ガゴメ、ワ カメ、アオワカメなど8種類のコンブ 目が生育し、また寒流系、暖流系の多 様な海藻が豊富である。地先の生物 多様性が高い。
下北半島沿岸北部	むつ市(旧むつ市、 下北郡大畑町)、 下北郡東通村	浅海域	ガン・ カモ類	下北半島沿岸 北部	コクガンの渡来地。
小川原湖湖沼群	上北郡東北町 (旧上北町)、 上北郡六ヶ所村、 三沢市	湖沼、 潟湖、 河口干潟 のある 河口域	湿原 植生	小川原湖湖沼群 (尾駁沼、鷹架沼、 市柳沼、田面木沼、 高瀬川、小川原 湖など)	ハンノキ林、水生植物群落など。 53種を超える水生植物が確認されて いる。
			水草	下北半島湖沼群	尾駁沼～小川原湖にかけての湖沼群。 種の多様性に富んだ水生植物群落が 成立し、一部を除き自然度は高い。
			淡水 藻類	市柳沼	絶滅危惧I類のシャジクモが生育。
			ガン・ カモ類	小川原湖湖沼群 (小川原湖および 周辺水田、尾駁 沼)	オオハクチョウ、コハクチョウの渡来 地。鷹架沼、市柳沼、田面木沼ではカ ンムリカイツブリの繁殖が見られる。

名 称	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選 定 理 由
			昆虫類	小川原湖湖沼群 (尾駁沼、鷹架沼、 市柳沼、田面木沼、 高瀬川、小川原湖 など)	モートンイトトンボ、オオキトンボ、 ババアメンボ、アシマダラウンカ、ハ コネマルツノゼミ等の生息地。下北半 島に並ぶ湖沼群のうち六ヶ所村内に含 まれる北から尾駁沼、鷹架沼、市柳 沼、田面木沼の各湖沼。北部の2湖は 太平洋に連絡した汽水湖で、遠浅の湖 岸には湿原植物群落が広がる。固有の 昆虫こそ知られていないが、冷涼な気 候下、汽水性の湿原とそれに続く草原 が残された特殊な環境となっており、 十分な調査研究は進んでいないもの の、本州や青森県ではここでしか生息 が確認されていない種など多数の貴重 な昆虫が分布している。
			淡水 貝類	下北半島の 湖沼群	種の多様性が高く、ヒダリマキモノア ラガイ(絶滅危惧I類)の生息地。カワ シンジュガイ(絶滅危惧I類)、ヌマコ ダキガイも生息。
			底生 動物	小川原湖湖沼群 (尾駁沼、鷹架沼、 市柳沼、田面木沼、 高瀬川、小川原湖 など)	ヤマトシジミ、カワザンショウや希少 種タカホコシラトリの生息地。
仏沼	三沢市	干拓地	その他 鳥類	仏沼	オオセツカの生息地。
陸奥湾	むつ市、青森市、上 北郡野辺地町、東津 軽郡平内町ほか	干潟、 浅海域、 藻場	海草	野辺地湾	スゲアマモの生育地。
				青森湾東岸	アマモ、コアマモ、タチアマモ、スゲ アマモの生育地。
			ガン・ カモ類	陸奥湾(大湊湾、 原別海岸、小湊 浅所海岸)	オオハクチョウ、コクガンの渡来地。
			底生 動物	小湊浅所	陸奥湾で最大の干潟。アナジャコ、キ サゴ、アサリ、ヤマトオサガニなどの 生息地。
宇曽利山湖	むつ市(旧むつ市、下 北郡大畑町)	湖沼	昆虫類	宇曽利山湖	黒化のシオカラトンボ。湖岸の湿地や 砂礫地には、ルリイトトンボ、ヒメミ ズギワカメムシ、エサキナガシカタビ ロアメンボ、ミヤマハンミョウ、オソ レヤマミズギワゴミムシ、シマチビゲ ンゴロウ、チビミズギワコメツキなど が生息する。また、湖から流下する正 津川にはナベブタムシを産する。

名 称	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選 定 理 由
猿ヶ森砂丘と 後背湿地	下北郡東通村	中間湿原、 低層湿原	湿原 植生	猿ヶ森砂丘と後 背湿地	ハマニンニクーコウボウムギ群落、ケ カモノハシ群落など。
			昆虫類	猿ヶ森砂丘と後 背湿地	尻屋崎近くの尻旁から小田野沢までの 間、約7.5kmに及ぶ長大な砂丘地で、 砂丘の後背に池沼群が広がる。コウベ ツブゲンゴロウ、オオヒメゲンゴロ ウ、マルガタゲンゴロウ、エゾゲンゴ ロウモドキ、エゾコガムシなどの水生 甲虫が記録され、砂丘上ではオオマキ ハサシガメ、カワラハンミョウ、ヤマ トヌスミベッコウ、ニッポンハナダカバ チ、ヤスマツムカシハナバチが確認さ れている。
十三湖・ 岩木川(河口域)	北津軽郡中泊町(旧 中里町)、五所川原 市(旧市浦村)、つが る市(旧西津軽郡車 力村)	潟湖、 河川、 湖沼	湿原 植生	十三湖・岩木川 (河口域)	エソシロネーヨシ群落、シオクグ群落 など。
			その他 鳥類	岩木川河口一 十三湖	オオセッカの生息地。
			昆虫類	岩木川下流域の 湿地群および十 三湖	岩木川最下流部は河畔が広大なヨシを 主体とする湿原となっている。十三湖 周辺に甲虫類。ウチワヤンマ、アオヤ ンマなど多数のトンボ類、オオシマゲ ンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、クロ ゲンゴロウ、ゲンゴロウモドキ、エゾ ガムシ、ホンガムシ他の水生甲虫類を はじめとした水生昆虫が豊富で、周辺 にはキタアカシジミが生息する。
底生 動物	十三湖・岩木川 (河口域)	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの 生息地。			
屏風山湿原池沼群	つがる市(旧西津軽 郡木造町・車力村)	湖沼、 中間湿原	湿原 植生	屏風山湿原池沼 群(平滝沼、ベン セ沼湿原、コケヤ チ湿原など)	ツルコケモモーミズゴケ群落、ニッコ ウキスゲーノハナショウブ群落など
			水草	屏風山湿原の池 沼群	貴重な水生植物ならびに湿地植生が 発達。
			昆虫類	屏風山湿原池沼 群(平滝沼、ベン セ沼湿原、屏風山 湿原)	カラカネイトンボ、オオセスジイト ンボ、アオヤンマ、マダラヤンマ、オ オトラフトンボ、ハッチョウトンボ、オ オキトンボなど多数のトンボ類。オオ ヒメゲンゴロウ、オオシマゲンゴロウ、 ゲンゴロウモドキなどの水生甲虫類が 多く生息している。
十和田湖	青森県十和田市(旧 上北郡十和田湖町)、 秋田県鹿角郡小坂 町	湖沼	淡水 藻類	十和田湖	絶滅危惧I類のヒメフラスコモ、カタ シャジクモが生育。

青森県生物多様性地域戦略検討委員会設置要領

(設置)

第1条 青森県における生物多様性の保全と持続可能な利用について、施策の方向性及び取組を定める「青森県生物多様性地域戦略(仮称)」の検討を行うため、青森県生物多様性地域戦略検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) 生物多様性の現状と課題に関すること。
- (2) 生物多様性保全の方向性に関すること。
- (3) 生物多様性の保全と持続可能な利用にかかる主要な取組に関すること。
- (4) 生物多様性保全の効果的な推進方法に関すること。

(構成)

第3条 委員会は、別表の委員をもって構成する。

- 2 委員の任期は、委嘱の日から平成26年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により選出し、副委員長は委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長は、会議を進行し、会務を統括する。
- 4 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて知事が招集する。

- 2 会議の議長は、委員長がこれを務める。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、青森県環境生活部自然保護課において処理する。

(その他)

第7条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要領は、平成24年10月16日から施行する。

別表(要領第3条関係)

青森県生物多様性地域戦略検討委員会名簿

	分野	氏名	所属
学識	植物生態	中静 透	東北大学大学院生命科学研究科 教授
	植物生態	石川 幸男	弘前大学白神自然環境研究所 教授
	植物生態	鮎川 恵理	八戸工業大学工学部 講師
	植物分類	米倉 浩司	東北大学学術資源研究公開ヒク-植物園 助教
	動物生態	東 信行	弘前大学農学生命科学部 准教授
	動物分類	大高 明史	弘前大学教育学部 教授
	動物行動	岡田 あゆみ	北里大学獣医学部 講師
	水産生物	尾坂 康	岡部(株)海洋事業部 顧問(元県内水面研究所長)
	環境水利	工藤 明	弘前大学農学生命科学部 教授
	農地環境	高松 利恵子	北里大学獣医学部 講師
	農村計画	藤崎 浩幸	弘前大学農学生命科学部 准教授
	地域社会	山下 祐介	首都大学東京都市教養学部 准教授
実践	環境NGO	田中 のぶ子	青森県自然観察指導員連絡会 事務局
	環境NGO	津曲 隆信	NPO法人おおせっからんど 副理事長
	環境NGO	関下 斉	野鳥の会あおもり 代表
	環境NGO	五十嵐 健志	NPO法人シェルフォレスト川内 理事長
	環境教育	奈良岡 隆樹	青森県立五所川原農林高等学校 教諭
団体	農 業	成田 仁樹	青森県農業協同組合中央会 営農農政部次長
	林 業	黒瀧 晴彦	青森県森林組合連合会 事業部長
	水産業	柴田 直光	青森県漁業協同組合連合会 指導課長

青森県生物多様性地域戦略策定庁内連絡会議設置要綱

(目的)

第1 生物多様性基本法第13条に基づく青森県生物多様性地域戦略(仮称)を策定するに当たり、戦略案の検討等を行うため、青森県生物多様性地域戦略策定庁内連絡会議(以下「連絡会議」という。)を設置する。

(所管事項)

第2 連絡会議の所管事項は、次のとおりとする。
(1) 青森県生物多様性地域戦略(仮称)案の検討
(2) その他青森県生物多様性地域戦略(仮称)の策定に必要な事項の検討

(構成員)

第3 連絡会議は、別表に掲げる課(室)の長が指名する職員により構成する。
2 連絡会議の議長は、環境生活部自然保護課長をもって充てる。
3 議長は、必要に応じて、第1項による構成員以外の者を連絡会議の会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(会議)

第4 連絡会議の会議は、環境生活部自然保護課長が招集する。

(庶務)

第5 連絡会議の庶務は、環境生活部自然保護課において処理する。

(その他)

第6 この要綱に定めるもののほか、連絡会議の運営に関し必要な事項は環境生活部自然保護課長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年1月21日から施行する。

別表(要綱第3関係)

部局等	課(室)等
企画部	企画調整課
環境生活部	環境政策課、自然保護課
健康福祉部	保健衛生課
農林水産部 (水産局)	農林水産政策課、食の安全・安心推進課、構造政策課、林政課、 農村整備課、水産局水産振興課
県土整備部	監理課、河川砂防課、港湾空港課、都市計画課
観光国際戦略局	観光企画課
教育庁	学校教育課、文化財保護課

青森県生物多様性戦略策定経過

年 月 日	内 容
平成24年 10月 16日	青森県生物多様性地域戦略検討委員会設置
平成24年 11月 9日	第1回青森県生物多様性地域戦略検討委員会開催 (戦略の策定について)
平成24年 12月 26日	第2回青森県生物多様性地域戦略検討委員会開催 (生物多様性の現状整理)
平成25年 1月 21日	青森県生物多様性地域戦略策定庁内連絡会議設置
平成25年 1月 22日	第3回青森県生物多様性地域戦略検討委員会開催 (生物多様性の現状整理、基本理念及び目標の検討)
平成25年 1月 31日	青森県生物多様性地域戦略策定庁内連絡会議開催
平成25年 2月 20日	第4回青森県生物多様性地域戦略検討委員会開催 (基本理念及び目標の検討)
平成25年 2月 23日	第1回県民ワークショップ開催(弘前会場) テーマ: 私たちが誇れる青森の生物とそれを活かした生活
平成25年 2月 28日	第1回県民ワークショップ開催(八戸会場) テーマ: 同上
平成25年 3月 3日	第1回県民ワークショップ開催(青森会場) テーマ: 同上
平成25年 3月 4日	第1回県民ワークショップ開催(むつ会場) テーマ: 同上
平成25年 8月 30日	第5回青森県生物多様性地域戦略検討委員会開催 (戦略骨子案及び行動計画について検討)
平成25年 9月 28日	第2回県民ワークショップ開催(青森会場) テーマ: 生物多様性の恵みを利用し続けるために今するべきこと
平成25年 9月 29日	第2回県民ワークショップ開催(むつ会場) テーマ: 同上
平成25年 10月 5日	第2回県民ワークショップ開催(八戸会場) テーマ: 同上
平成25年 10月 21日	第2回県民ワークショップ開催(弘前会場) テーマ: 同上
平成25年 10月 22日	第6回青森県生物多様性地域戦略検討委員会開催 (戦略骨子案の検討)
平成25年 11月 2日	第3回県民ワークショップ開催(八戸会場) テーマ: 生きものを生かした豊かな地域を作るためのアイデア
平成25年 11月 5日	第3回県民ワークショップ開催(青森会場) テーマ: 同上
平成25年 11月 6日	第3回県民ワークショップ開催(むつ会場) テーマ: 同上
平成25年 11月 30日	第3回県民ワークショップ開催(弘前会場) テーマ: 同上
平成25年 12月 17日	第7回青森県生物多様性地域戦略検討委員会開催 (戦略素案の検討)
平成26年 1月	パブリックコメントの実施
平成26年 2月 12日	青森県環境審議会報告
平成26年 3月	「青森県生物多様性戦略」策定